



「活力創造都市・京都」への挑戦

京で働き、京で暮らす



会頭
立石 義雄
オムロン株式会社
名誉会長

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新しい年を迎えました。少子高齢化や人口減少がますます進展する日本において、経済の好循環を地方や中小企業にまで拡大し、将来の消費税率引き上げに耐え得る強い経済を実現しなければなりません。また、京都においては2020年の東京オリンピックを見据えて、文化の強力な発信や増加する外国人観光客への対応、施設拡充を想定したMICEブランド戦略など、オール京都で策定した「京都ビジョン2040」で掲げた『世界交流首都・京都』を目指した取り組みを進めていく必要があります。特に本年は「琳派400年記念祭」の年を迎え、産業と文化の息づく新しいまちづくりを考える機会でもあります。未^{いま}が来ると書いて「未来」と読みます。本年は、活力あふれる創造都市・京都という未来に

向けての挑戦の年にしたいと思っています。

昨年末の総選挙により、与党が引き続き政権を担うことになり、アベノミクスによる少子高齢化対策や働く場所の確保など、地方創生へ向けた動きがいよいよ本格化されようとしています。これからの未来は、地方の活力が求められる時代です。新たなニーズを掘り起こし、地域資源の魅力を高め付加価値を創造する取り組みが注目されています。京都においても内需経済を支える環境・エネルギー、健康医療、介護などの産業をはじめ、農林水産業や観光産業の6次産業化が動き始めていますが、“点”ではなく“面”の視点で地域の産業を支えることが、地域の雇用を生み出し、人々が安心して生計を立てることにつながります。脱量産の発想によって、多様化する顧客ニーズに知恵で応えて付加価値を創出する課題解決のビジネスモデルが、循環型地域

経済を活性化させるひとつのヒントです。「京で働き、京で暮らす」をスローガンにして、京都が育んできた「先進性」と「獨創性」を生み出すモノづくりの哲学を活かし、職住一体型の京都モデルを構築することにより、地方創生のさきがけとなるよう推進してまいります。

本所では、京都の中小企業が「内需を掘り起こし、外需を取り込む」ことができるように、ローカルな市場で活躍する内需型の企業を生み出すとともに、小さくともグローバルに展開する企業を支援することで、「ニュー京商ビジョン」の『知恵産業のまち・京都』をさらに推進していきます。今年2月に京都の知恵ビジネス企業55社が出展する「知恵ビジネスメッセ」を東京で初めて開催しますが、これを足掛かりに、今秋にはオール京都の取り組みに拡大して開催する予定です。国内外の販路開拓支援の拡充を図り、誰もが知恵ビジネスや顧客創造に挑戦できるような施策やプロジェクトを展開することで、「知恵産業の森」の実現を目指したいと思います。

本年が皆さまにとって、実りある年となることを祈念いたしますとともに、本所活動への一層の参画をお願い申し上げます、新年のあいさついたします。



副会長
株式会社京都銀行
代表取締役会長
柏原 康夫

地方創生に向けて

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。
安倍政権発足から2年余、経済再生に必死で取り組む中、本年最大のテーマは、「地方創生」であります。2040年までに全国の市町村の半数が消滅の危機に直面するとの「日本創生会議」の報告書は、地方の人口減少の厳しい現実と深刻さを突き付けました。

言うまでもなく、地方再生、地方創生は今や猶予のない課題となる中、かつてのような一律的な補助金や交付金といった中央集権型の地方支援では解決できるものではなく、地方の創意・工夫・意欲を引き出し、眠っている地域資源を掘り起こすものでなければなりません。その実現のためには、メインプレーヤーとして核心部分を担う中小企業経営にフォーローの風を吹かせ、自治体、地元産業、金融機関等による密接な連携のもと、「国に恃まず」各地域が持つ魅力を存分に生かす政策を地域自らが考え行動することが大切です。

それは、知恵産業の振興を通じて革新を起し地域経済の活性化をめざす、当商工会議所の「価値創造都市・京都」実現の方向性そのものであり、京都が地方創生への先導役を担うべく、私どもも微力を尽くして参ります。
本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。



副会長
株式会社島津製作所
代表取締役会長
服部 重彦

人の力

「人は石垣、人は城、人は堀」は武田信玄。「企業は人なり」は松下幸之助氏が好んで使った。組織は人が全てである。人の力を最大限に引き出すにはどうすれば良いのか、経営者はいつも苦心するところである。当社の若手社員にアンケートを取ったところ、次の環境下であれば働き甲斐を感じるのとのことであった。

- ・未知への挑戦ができる
- ・自己の成長感を感じられる
- ・社会貢献を実感できる
- ・仲間と共同することの喜びを持てる
- ・ステークホルダーに認知される誇りや喜びを感じる
- ・適当な報酬を得られる

何れも簡単では無いが、今年も最大限の努力をしたい。



副会長
株式会社ワコールホールディングス
代表取締役社長
塚本 能交

魅力ある京都の実現に向けて

新しい年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

国内経済の成長度合いは、依然として低水準であり、円安傾向の持続によるマイナス要因が見込まれるなど、引き続き景気の不透明感は拭えません。しかしながら、こうした予測や景気に左右されることなく、京都の持つ様々な資産や強みを結集し、地元の皆さまへの活力と、京都を訪れる人々への魅力を提供し続けることが大切だと考えます。

ところで、政府は、東京五輪の開催決定を追い風に、2020年までに国外からの観光客数を2千万人へと倍増させることを目標としています。国内では今後も、人口の減少や高齢化が進み、観光需要の低迷や地域の活力の低下が予測される中、インバウンド観光の推進は、地域に観光収入の増加をはじめ、雇用機会の創出や企業の成長をもたらす、地域の活性化に大きく寄与することが期待されます。

世界に誇れる「千年の都」京都においても、引き続き京商一万二千の「知恵と力」を結集し、付加価値の高い観光に加え、人財や情報交流による波及効果を創出し、京都を、そして日本経済をリードしていく。そんな、さらに「魅力ある京都」を実現するため、担当部会や委員会を含めた活動を通じ、努力して参る所存です。
本年が会員の皆さまにとりまして良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



副会長
株式会社フクナガ
代表取締役会長
福永 晃三

日本文化を海外へ

新年あけましておめでとうございます。

一昨年は「和食」が日本人の伝統的食文化としてユネスコ無形文化遺産に登録され、引き続き昨年「和紙」も登録決定されました。日本独自の伝統文化が、世界から注目されることは嬉しい限りです。近年、私どもは中小企業の海外市場開拓や進出を支援しグローバル化を推進しています。昨年、パリ商工会議所を訪問した際、「都市の経済社会の課題は何処も同じで、世界の規範となる固有の歴史文化を保有している京都とパリの交流を図っていきたい」という、意欲的な提案をいただきました。今年9月にはパリで「日仏観光産業フォーラム(仮題)」も計画されているとのこと。ジャパンブランドとなった「おもてなし」「環境問題」「精神性」「こころ」、さらには株主至上主義と対局にある日本経営や社員教育にも関心が高いようです。従来感じたパリ優位の目線は感じられず、これからの交流が対等に進むことが期待されます。本年は、日仏の経済文化や観光政策について活発に意見を交わす1年にしたいと思います。

本年が皆様にとりまして良い年になるよう祈念するとともに、今後の活動と交流にご支援、ご協力をお願いします。



副会長
株式会社堀場製作所
代表取締役会長兼社長
堀場 厚

京都の新たなブランド力 産学連携のリーディング都市へ

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

京都は今年、世界観光地ランキングで1位になり、街中では外国人観光客が過去と比較しても数段多くみられるようになりました。京都は今、まさに日本のブランド力の中心となっております。

次は観光以外の分野でも京都から発信していくようになることが重要です。特に産学連携においては京都は古くから学生の街として知られ、大変恵まれた土地です。

中小企業も含めて、より産業界からの働きかけを強く進めていければ、京都の産学連携は一層強固なものになると確信しています。また、そこから継続的に活性化していくことがひいては日本全体のパワーアップに繋がります。

会員の皆様とともに、京都の新たなブランド力を向上させていきたいと強く願っておりますので、ご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。
新年が皆様にとりまして、一層の飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



副会長
京セラ株式会社
代表取締役会長
久芳 徹夫

新年に夢を描く

謹んで新年をお慶び申し上げます。

私は、不透明な経営環境だからこそ、夢を描くことが大切だと考えています。苦しいときこそ、希望にあふれた夢を描くことで、困難を乗り越えることができるからです。

我々経営者が描く夢、それは会社の明るい将来像です。社員の誰もが、それに一歩でも近づきたいと思う理想の姿です。そういう夢があれば、創意工夫を重ねたり、新しいことに積極果敢に挑戦するようになるでしょう。なぜなら、夢が人を鼓舞し、人が挑戦しようとする原動力となるからです。

夢があるからこそ、人は生き生きと仕事をすることが出来ます。また一人ひとりが夢を抱き、懸命に働けば、組織には素晴らしい未来が開けていきます。我々経営者は、常にそのような夢を語り、全社員と共有していくことが必要ではないでしょうか。

本年も微力ながら、副会長として尽力してまいります。ご支援をよろしくお祝い申し上げます。